

二〇二四年度 北陸大学一般選抜（本学独自方式） A日程問題

（二月一日実施）

国語

（注 意）

- 一、問題冊子は本文8ページ、解答用紙は2枚（解答用マークシート1枚と記述式解答用紙1枚）。
- 二、マークシートの問題は、解答欄1から12のあてはまる選択肢の枠内をぬりつぶすこと

（複数解答は無効）。

他の問題の解答は、記述式解答用紙の指定の欄に記入すること（*内には記入しないこと）。

- 三、解答用マークシート・記述式解答用紙は、持ち帰ってはならない。

- 四、試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

- 五、コピー及び二次利用は行わないこと。

「二」次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

著作権者の二次利用の許諾を得られていない設問は、表示しておりません。

著作権者の二次利用の許諾を得られていない設問は、表示しておりません。

一、 空欄 A D に当てはまる語句を、次の選択肢からそれぞれ一つ選びなさい。

(マークシート解答欄 1～4)

- 1 日本 2 欧米

二、 空欄 I に共通して当てはまる表現として最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄 5)

- 1 世界が輝く 2 家族が輝く 3 職場が輝く 4 自分が輝く

三、 傍線部アについて、これらの特徴を端的に言い表している言葉を本文中から十二文字で抜き出し、記述式解答欄に書きなさい。

四、 空欄 E に当てはまる語句として最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄 6)

- 1 すなわち 2 そうして 3 ところが 4 くわえて 5 たとえば

五、 空欄 II に当てはまる世論調査の結果として最もふさわしいものを、文章全体から判断して八字以上十二字以内で記述式解答欄に書きなさい。

六、 この文章のタイトルは『自己実現の畏』である。なぜ「畏」なのかについて、傍線部イを参考にしながら「自己実現」という語句を必ず用いて五〇字以上七〇字以内で記述式解答欄にまとめなさい。

「二」 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

記憶が^A変容するメカニズムはいくつか考えられていますが、ここでは、「プライミング効果」について説明します。

プライミング効果は、事前に見聞きしたことが、その後の記憶に影響を与える現象です。

1974年に米国の研究者らが、次のような実験を行いました。実験協力者に交通事故の動画を見せた後に、「現場に、割れたガラスは落ちていたか」と質問します。動画を見ていた人たちはガラスに特に注意を払っていないため、本当は「落ちていなかった」が正解ですが、「落ちていた」と回答する人も現れます。

では、この協力者たちを2つのグループに分けて動画を見せ、割れたガラスが落ちていたかという質問をする前に、ぶつかった車の様子を説明する単語を変えたらどうなるでしょうか。ひとつのグループには「当たった (hit) 車のガラス」、もうひとつのグループには「激突した (smashed) 車のガラス」という言葉を使って質問しました。その結果、「激突した」と説明されたグループでは、ガラスが落ちていたと回答した人数が、「当たった」と説明されたグループの答えの2倍以上になりました。

記憶が A によって変容したのです。

記憶の変容について、もうひとつの興味深い例が、「フラッシュバルブ」に伴う変容です。フラッシュバルブは、社会や個人にとって重大な出来事が起こったときに、まるでカメラのフラッシュを焚いて写真を撮ったかのように強く記憶してしまう現象のことを指します。 B、東日本大震災のときに、直

接被災をしていなくても、地震が起きたときに自分がどこで何をしていたのか、とても細かいことまで鮮明に覚えているという人は多いのではないでしょう。それらは、覚えている本人にとっては、確固とした記憶です。しかし、研究によって、フラッシュバルブ記憶では、中心となる出来事は覚えていても、それほど重要でない記憶は変容してしまうことがあると分かりました。

中国の研究グループが大学生に四川大地震が起こったときの記憶を、地震から1年後と2年後に調査し、2012年に論文で発表しました。地震のときに「どこにいたか」という質問の答えは、2年経っても変わりませんでした。 C、「何を着ていたか」というような地震とは直接関係ない周辺情報の記

憶は、調査の1年後と2年後では変化していません。

なぜそのようなことが起こるのか、はっきりとは解明されていませんが、フラッシュバルブ記憶を持つ人は、そのときの自分の記憶を過信しているとい

う特徴があります。これだけ強烈な出来事なのだから、間違っているはずがないと思ってしまうのかもしれませんが。印象に残る出来事だからこそ、一部の記憶が変容してしまうこともあると知っていれば、誰かと記憶の食い違いで気まづくってしまうことを避けられるかもしれません。

干渉という言葉は、日常生活では他人に口出ししたり指図したりする意味でよく使われます。「自立した社会人になったのに、親があれこれ干渉してきてうるさい」といった具合にです。しかし、記憶の干渉といっても、記憶があれこれ指図してくることはありません。物理学の用語としての干渉です。

物理学という干渉は、2つ以上の同じ種類の波が重なって、互いに強め合ったり弱め合ったりする現象のことです。波の山同士がぶつかれば強め合いますが、山と谷がぶつかる弱め合います。

記憶は波ではないので、物理学の干渉とは違いますが、新しい記憶が入ってきたときに過去に似たような記憶があると強め合ったり弱め合ったりする現象のことを指すので、記憶の干渉と呼ばれています。

この概念が提唱されたのは、1900年ごろです。物事を記憶した後で、別の物事を記憶する作業を行うと、その作業を行わない場合に比べて最初の記憶の保持が低下する現象が見つかり、これが記憶の干渉説になりました。なぜこのようなことが起こるのか、はつきりとしたメカニズムはまだ明らかになっていませんが、互いに類似した記憶ほど干渉が起こりやすいという性質が分かっています。

干渉作用は記憶ができない場合（抑制）と記憶する助けになる場合（促進）の2種類があり、抑制の方が起こりやすいことが分かっています。

D、「順向干渉」と「逆向干渉」があります。すでに記憶している古い記憶が、新たに入ってきた情報の記憶に干渉するのが順向干渉で、新たに入ってきた情報がすでに記憶している情報に対して干渉するのが逆向干渉です。（中略）

思い出すたびに変容するだけでなく、他の記憶によっても変わってしまうなんて、記憶というものはずいぶんいい加減な仕組みのように感じられます。実際に脳は、コンピュータと違って、正確性や再現性に欠けています。脳のように、呼び出すたびにデータが変わっていくコンピュータがあったら、困ります。面白そうなので、ちょっと使ってみたいですが、仕事に使うことは恐ろしくてできません。

しかし、脳にとつては、このメカニズムの方が合理的なのです。昔の記憶を少しも変わらずに保持しているだけだったら、変化する環境に対応することができません。最新の情報を取り込み、古い記憶と照らし合わせ新しく解釈して新しい記憶を作っていくことで、新しい環境に対応できるのです。その時に読み出された古い記憶も、新しい記憶の影響を受けて変容します。使われない記憶は、だんだん読み出せなくなり劣化し、シナプスは他の記憶に使われていきます。

記憶の干渉も、新しい記憶を過去の似た記憶と関連させることで、効率よく使える記憶として変化させているのです。

このように常に変化し続けることで、生存競争に勝ち残ってきた脳の戦略は、私たちも見習うべきところがあるかもしれません。昔のやり方を貫くだけでは、時代に取り残されてしまいます。かといって、新しいものに次々飛びついて古いものを捨ててしまえば、進歩することはできません。

これまでのやり方にこだわるのではなく、新しいものが入ってきたら、比較検討して、新しいものの良さを取り入れる。そして、判断基準そのものを変化させていく。この柔軟さが、脳の作り出す記憶の最大の強みです。

脳は敢えて、変わらないことより変わることを選んだのです。これは想定外の環境変化があることを想定した、^カ脳の素晴らしい生存戦略です。そのおかげで、私たちは数万年前と同じ設計図で、まったく違う世界を生きることができているのです。

(澤田誠『思い出せない脳』より一部改変)

一、傍線部Aについて、「変容」の意味として最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄7)

- 1 変えあらためること
- 2 姿・形が変わること
- 3 移り変わること
- 4 進歩し発展すること
- 5 性質または物質が変化すること

二、空欄Aに入る語句として、最もふさわしいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄8)

- 1 事前情報
- 2 一次情報
- 3 事後情報
- 4 基礎情報
- 5 重要情報

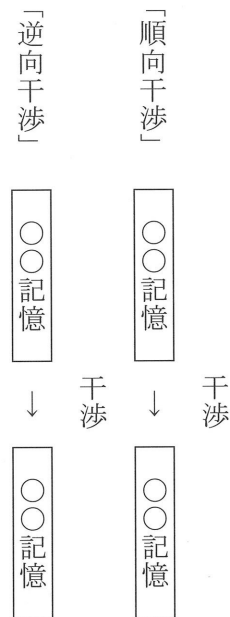
三、空欄B・C・Dに入る語句として、最もふさわしいものを、次の選択肢から一つずつ選びなさい。

(マークシート解答欄9～11)

- 1 さらに
- 2 または
- 3 そして
- 4 たとえば
- 5 これは
- 6 しかし
- 7 ところで

四、傍線部イについて、その性質が分かっている概念を本文中から六字で抜き出して記述式解答欄に書きなさい。

五、傍線部ウ・エについて、「新しい記憶」と「古い記憶」という語句を用いて記述式解答用紙の図を完成させなさい。



六、傍線部オについて、本文中の内容に即した具体的な説明を四〇字以上五〇字以内で記述式解答欄に書きなさい。

七、傍線部カについて、本文の内容として正しいものを、次の選択肢から一つ選びなさい。

(マークシート解答欄12)

- 1 脳は、常に変化し続けることで生存競争に勝ち残り、新しい記憶と過去の似た記憶を変容させ、そのまま保持し続けることが強みである。
- 2 脳は、新しい記憶と過去の記憶を比較検討し、判断基準そのものを変化させることなく、新しいものの良さを取り入れることができる。
- 3 脳は、想定外の環境変化があるということを想定し、変わらないことよりも変わることを選んだ。
- 4 脳は、「柔軟さ」が最大の強みであり、古い記憶と既存の記憶を照らし合わせて新しく解釈することで変化する環境に対応してきた。
- 5 脳は、昔の記憶を少しも変わらず保持し、変化する環境に対応するために合理的なメカニズムを構築している。

〔三〕 以下の問いに答えなさい。

一、 次の傍線部について、漢字の読みをひらがなに、カタカナを漢字に直して、記述式解答用紙に書きなさい。

- 1 城からゆるやかに湾曲した河川を眺める。
- 2 この専門書一冊でビジネス用語を網羅できる。
- 3 樹齡千年の御神木に畏怖の念を抱く。
- 4 あの奏者は魅惑的な旋律を奏でる。
- 5 大空を悠然と飛ぶ一羽の鷺を眺める。
- 6 歴史的な一戦に日本中がネツキヨウした。
- 7 地球温暖化は我々にとってキョウイである。
- 8 一部の業務を外部の業者にイタクする。
- 9 大雨の影響でドシヤ災害が発生しそうだ。
- 10 購入した商品をハウソウしてもらう。

二、 次の四字熟語やことわざについて、□にあてはまる漢字を、記述式解答用紙に書きなさい。

- 1 免許□伝を受けた。
- 2 本末転□な結果に終わる。
- 3 前途□望だと期待される。
- 4 背に□は代えられぬ。
- 5 鬼の目にも□。